



～戮力協心～ NO.47

2023年5月25日

発行責任者 池尻 和寛

編集責任者 情 宣 部

復帰51年！5.15沖縄平和研修開催！ その4

○嘉数高台公園（普天間基地）・安保の見える丘（嘉手納基地）

沖縄戦最大の戦闘と言われる「嘉数の闘い」が繰り広げられた場所です。銃弾の痕や当時使用されたトーチカ（コンクリート製の防御陣地）が残り、米軍の攻撃の凄まじさを物語っています。

公園の塔からは「世界一危険な基地」と言われている“普天間基地”を見ることができます。ヘリの墜落や部品落下の事故が多発し、近隣住民の生活が脅かされています。また、“嘉手納基地”が一望できる「安保の見える丘」では、東アジア最大と言われる広大な米軍基地を見ることができます。羽田空港の1.3倍もの面積の土地がアメリカの物として使用されていることや、軍用機の騒音問題など、戦後78年が経過した沖縄が、今も大きな負担を強いられていることを肌で感じました。



○対馬丸記念館

沖縄戦が迫る中、女性や子供、高齢者を疎開させるために運行された対馬丸はアメリカの潜水艦に撃沈され、乗っていた1661名中、判明しているだけで1484名が犠牲になりました。しかし政府は、この出来事が広まり疎開が進まないことで戦闘に不利になることを恐れて事実を隠し、生存者にも緘口令（かんこうれい）を敷きました。記念館では、犠牲者を紹介するパネルや残された数少ない遺品を展示し、戦争に翻弄され尊い命が犠牲になったことを伝えています。



沖縄の地での平和研修によって、沖縄戦で奪われた大勢の命や平穏な生活の重みを実感しました。参加者と平和について議論し、戦争で犠牲になるのは私たち労働者など弱い立場の人々であるという認識をより深めることができました。どんな理由があっても戦争は阻止しなければなりません。この沖縄平和研修を通じて学んだ平和の大切さ、戦争の愚かさを全国の仲間にも広め、平和運動を展開していきます！